

女性議員を増やそう

政治は生活の道具

地域活動を支える女性が多いにも関わらず、女性議員は少なく、現在の大田区議会は2割に満たない状況です。公的な場において女性の声が十分に反映されていないことは問題です。

また、収束の予測がつかないコロナ禍は、雇用など多くの女性の生活に大きな影響を及ぼしています。女性が政治に参画し、ともに考え、誰もが生活しやすい社会にすることが望ましいと考えます。LGBTQ(*1)や障害のある人も単身者も外国人や若者も高齢者も含め違いを認め合い、多様な価値観や背景を持つ人皆が生きいきと暮らせることが大切です。

少ない日本の女性議員

コロナ禍の中で生命や生活が政治と直結していることを身をもって経験してきたにもかかわらず、先の衆議院議員選挙では投票率が55.93%という低さでした。女性候補者を増やす法律(*2)が整備された後の初の国政選挙でしたが、女性議員の割合は9.7%と前回よりも減ってしまいました。

日本は世界経済フォーラムの公表する「ジェンダー・ギャップ指数」では政治や経済分野の女性の参画率が低いことから、毎年下から数える方が早い位置(120位/147か国中)にいる現状です。

しかし、政治が日常生活と身近な地方選挙においては新人女性候補が上位で 당선するなど、少しずつ変化が起きています。日本でもパリテ・カフェという女性議員を増やす活動があります。

パリテって何？

「パリテ」というのは、フランス語で「男女同数・男女均等」という意味の言葉です。人口は男女半々なのだから、大事なことを決める場の議会も「パリテ=男女半々」にして、「女性も男性も平等に政治を担おう」というフランス発の考え方です。フランスでは2000年にパリテ法ができ、現在閣僚の数はパリテ=男女半々です。その結果、生理用品が大幅に減税されるなど、女性や子どもに関する政策の優先度が上がっています。

大田・生活者ネットワークは女性議員を増やし、多様な声を議会に届け、誰にも優しい社会をめざします。

(*1)《政治分野における男女共同参画推進法》選挙において、男女の候補者数をできる限り均等にしよう努力することを、政党その他の政治団体に促す法律。

(*2)《LGBTQ》レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー・クエスチョニング(性的指向や性自認が未確定の人)のこと。



大田・生活者ネットワーク 西川有理子
(一社)パリテ・アカデミー事務局長

令和2年度 一般会計歳入歳出決算

令和2年度の大田区一般会計歳費について、2021年10月11日の区議会にて締めくり質疑応答がありました。きたざわ潤子に関わった案件について所属会派が発言した内容を紹介します。

古民家の保存

発言者:エールおおた区議団

大田区で一番古い築260年を超える西嶺町の古民家は、北澤議員の仲介で所有者の協力を得て大田まちなめぐり100景の画題となった。古民家は少なくなり、近年では江戸時代から続く鶉の木の「名主の家」として価値が高い木造建築物は保存が叶わなかった。しかし、教育委員会、学芸員、区民の協力もあり、建物の構造全てを令和2年3月大田区の文化財43集に残すことができた。区は貴重な古民家についてどのような見解を持っているか。

答弁者:教育総務部長

古民家は、当時の生活から今日に至るまで、時代の変遷を伝える貴重な歴史的建造物であると捉えている。今後も所有者との協議を重ね現存する古民家の調査研究をさらに深めていくことは重要であると認識している。区は、文化財や歴史的建造物保存の普及啓発を進め、調査研究等によって歴史や地域について区民の理解が深まるよう取り組みの充実に努めていきたい。

10月17日(日)池上の古民家カフェ蓮月において、“北澤潤子さんありがとう実行委員会”による「お別れの会」が開催されました。

会場には指人形や昔がたりの動画、議会質問の映像、子どもの頃からの写真やスライド、幼稚園教諭時代から使っていた思い出の品々が展示されました。動画から流れてくる北澤さんの声に、思い出を振り返る人々が多くみられました。



「北澤潤子さん
お別れの会」
の報告